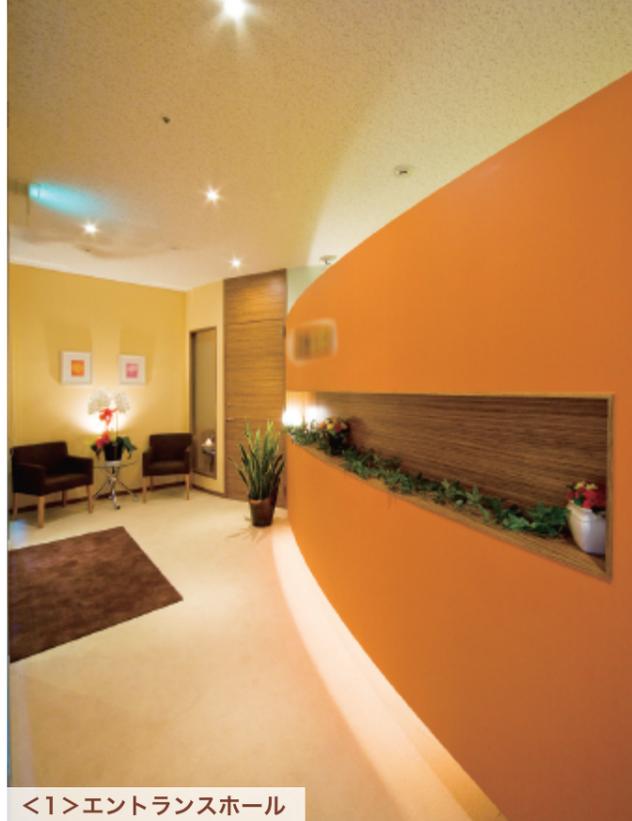




<2> 執務室



<1> エントランスホール

[右ページ写真・写真1]ビビットな色彩と間接照明で構成された造作パネルが、企業ロゴをインパクトのあるものにします。エントランスはその会社の顔です。コーポレートカラーを壁などに用いると印象的な空間となります。[写真2]デザイン関係のオフィス空間。壁面に用いた水色は脳を沈静化する効果があり、集中して作業をする空間に適した色です。[写真3]暖色系の壁紙と間接照明で緊張感が和らぎ、脳がリラックスできる会議室。円卓を用いることで参加者全員の意識が中央に集中し、活発な意見交換などが期待できます。[写真4]オレンジ色のアクセント壁に観葉植物の緑色が映える執務空間。豊かな色彩と、配置されたデスクの曲線が空間の気の流れを活発にし、動きのある空間となっています。



<3> 会議室



<4> 執務室

Feng-Shui Gallery

special edition vol.39

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『オフィス vol.4』



<エントランスホール>

色彩豊かな執務空間は、脳を活性化させやる気や効率アップに効果を発揮します。

人間の脳に入ってくる知覚情報の中で、70%以上を占めるのが視覚情報といわれています。

それゆえに、職場環境によって人は多大な影響を受けるのです。

社員はもちろん、クライアントや取引先の人々にも、その会社のイメージというのは重要な要素です。色彩やデザインなどの視覚情報を効果的に用いて、整ったオフィス空間を構築することが大切です。